



成瀬台中学校だより

令和5年度—第1号—

Tel (042) 728-6030 HP <http://www.machida-tyk.ed.jp/j-narusedai/>

令和5年4月27日発行

学校目標

[自主]個性をまかし 自ら学び続ける人間

[敬愛]自他を尊重し 思いやりのある人間

[克己]困難に打ち克つ 心身ともにたくましい人間



新しい年度が始まりました

校長 福田 秀樹

校庭のソメイヨシノが葉桜となって、隠れていた白色のハナミズキがみずみずしい美しさを見せています。校舎脇でも紅色のツツジが勢いよく咲き乱れ、新緑のまぶしさによく映える若い息吹が感じられる季節となりました。

新入生149名を迎え、全校生徒453名で2023年度が始まりました。新入生の保護者の皆様、改めてお子様の御入学おめでとうございます。入学式の呼名にキラキラと輝く眼差としっかり返事をする新入生一人一人の表情を壇上から、とても頼もしく感じました。

さて、4月6日の1学期始業式での話、4月7日の入学式式辞の一部を紹介します。

【始業式】3年生の皆さん。皆さんは義務教育の最終学年として、また、成瀬台中学校の最上級生として、1つ1つが中学校生活最後となる、学校行事や生徒会活動、部活動など、その中心となって取り組んで欲しいと思います。そして、自分の殻を一つ一つ破って行きましょう。また、今年度後半には、自分の将来にかかわる進路の選択・決定という大きな目標を成し遂げなければなりません。それぞれの目標に向かって精一杯努力していきましょう。

2年生の皆さん。皆さんは、中堅学年として、思う存分、自分を磨き、充実させる時です。3年生を支えて活動するとともに、中学校生活に慣れない1年生も助けていって欲しいと思います。成瀬台中学校の1年間を左右する重要な鍵を握っているのは2年生の一人一人の自主性です。期待しています。

立派な態度や振る舞いの基本は、やはり「凡事徹底」です。昨年度、何度か話をしてきましたが、凡事徹底とは、「あたりまえのことがあたりまえにできる」ということであり、「当たり前のことでもそれを徹底して、継続することによって非凡な、または優れた成果が得られる」ということでもあります。時間を守る、挨拶、整理整頓など、「普通のことを、面倒くさがらず、きちんと行う」「徹底してやり続ける」ことが、立派な自分の土台をつくることにつながります。これまでのことにとらわれず、時間と空間を共有する友達のすばらしいところに学び、自分を鍛え、切磋琢磨し、本校を卒業する時「成瀬台中学校に来てよかった」「成瀬台中学校で学んだことを誇れる」と、実感できるよう期待しています。

【入学式】中学校での3年間で、皆さんは心も体も大きく成長します。成長するなかでは、一人では解決できない問題や悩みに出会うこともあります。これは、中学生の時に、誰もが経験することです。そんな時は、一人で悩まず、家族や友だち、中学校の先輩や先生方に遠慮なく、相談して欲しいと思います。皆さんを支えてくれる人が必ず見つかります。

また、皆さん自身も友達から頼りにされる人になれるよう、努めていきましょう。友だちの良さを認めることで、友だちから自分自身の良さも認めてもらえます。いつも友だちと協力する姿勢を持てば、自分が困ったときに、友だちが助けてくれます。

学校という所は、そこで生活する全ての人と「時間」と「空間」を共有しています。集団の中で共に考え、共に悩み、共に苦勞し、そして互いの個性や良さを認め合い、協力しながら、楽しく学校生活を送ることを心がけていきましょう。

皆さんは世界の宝です。磨けば磨くほど光ることを私は知っています。学校はその宝を大切に、丁寧に指導します。成瀬台中学校はそれに相応しい場です。皆さんが心や発想を豊かにし、自らの未来を創っていかねば、未来の世界も創ることができないことも私は知っています。皆さんが自らの未来の設計図を考え、実現していくことを学校は全力でサポートします。